

あさご芸術の森 作品案内カード

作品	PONKO143			
	制作年	1998	素材	鉄
	サイズ(m)	2.5×10×1.5		
作者	本郷 重彦		現住所	滋賀県
<p>■作品への作者コメント</p> <p>—PONKO 143—は、多々良木‘98のテーマである「人と自然と対話」から、人々が子供の頃から憶れの的であった蒸気機関車をモチーフにし、子供たちが遊園地の遊具と同じように、作品に乗ったり音をだしたりして楽しく遊んでくれることを望んでいます。そして、この作品との対話から、朝来地区の緑豊かな自然との対話へと広がっていくことを期待しています。</p> <p>作品もようやく廻りの環境となじみ、子供たちや家族連れの人達との自然な対話が始まっています。</p> <p>機関車のハンドルや昇り下りのステップが、何時も触れられ錆びずに鉄の輝きを保っています。この輝きは、作品が人々と対話をしている証です。作品は人々と対話する生き物かもしれません。</p> <p>私たち人間は、何時も何かと語り合い、喜びや悲しみの感情を、その時の表情で表しています。子供たちが大声で楽しく遊んでいる姿は、大人にとっても心が癒される情景です。</p> <p>対話の楽しみは、心広く物にやさしいことから始まります。</p> <p>芸術の森は、楽しい対話の空間がいっぱい。</p>				